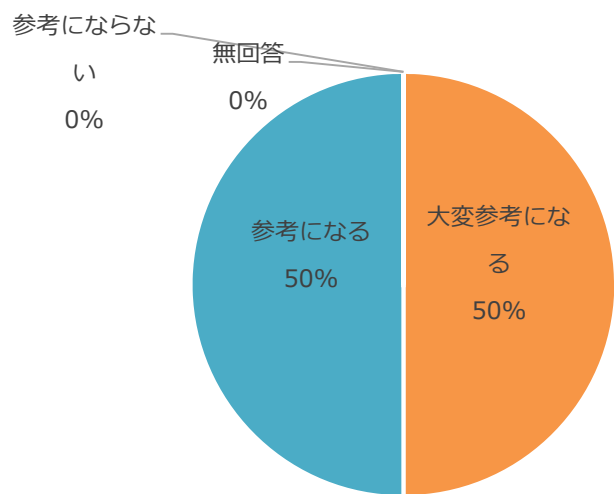


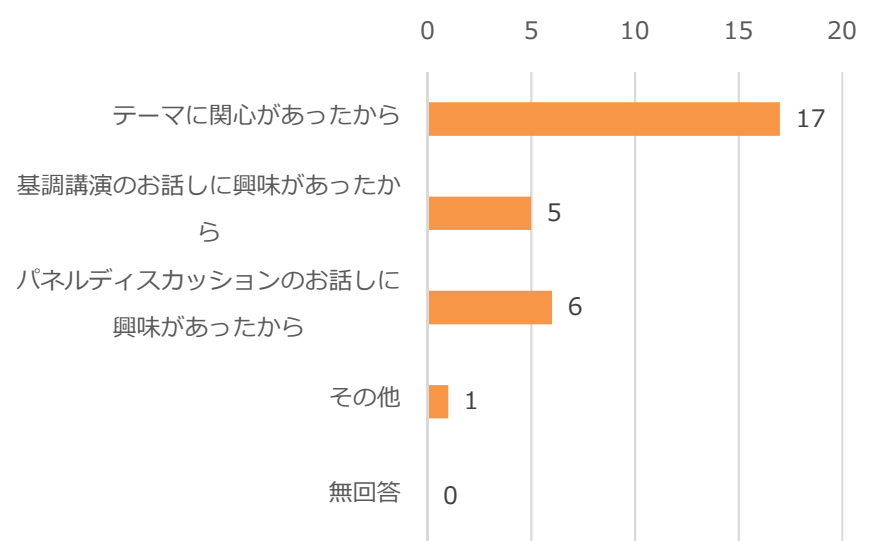
# 平成28年度 第1回景観まちづくり講座 参加者アンケート結果

(回収率) 回答者26名/参加者34名=76%

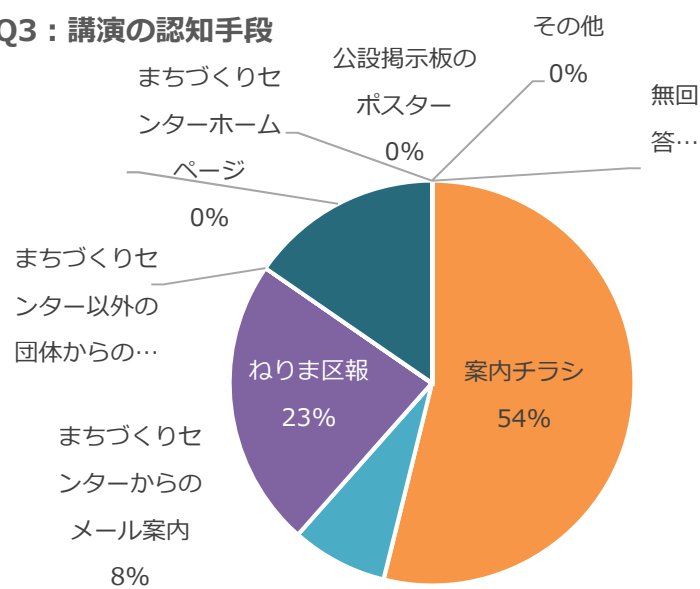
Q1: 講演内容は参考になったか



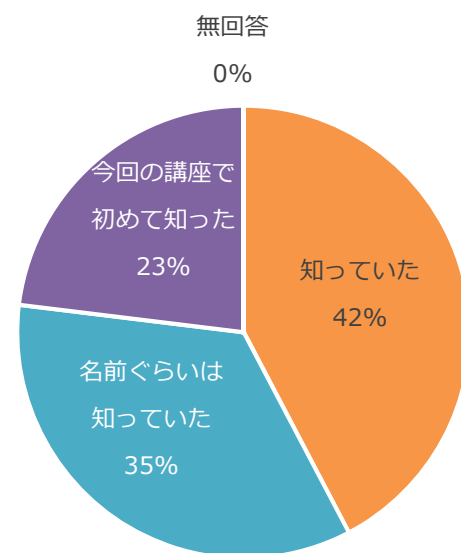
Q2: 講座参加のきっかけ



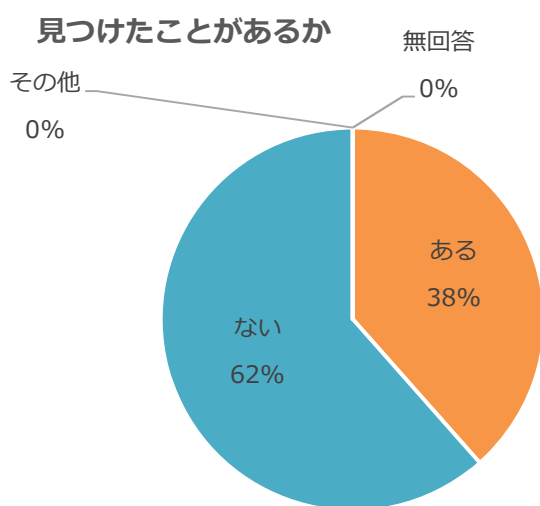
Q3: 講演の認知手段



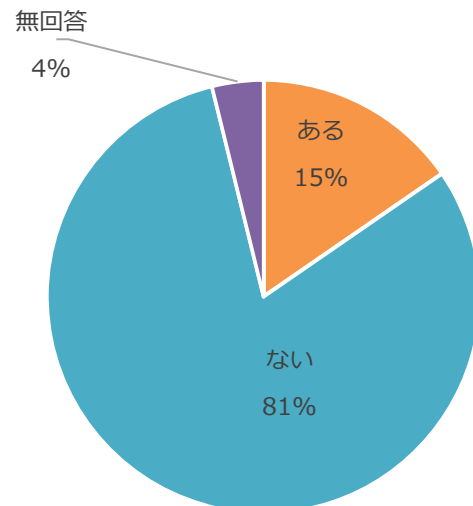
Q4: 以前から「とっておきの風景」を知っていたか



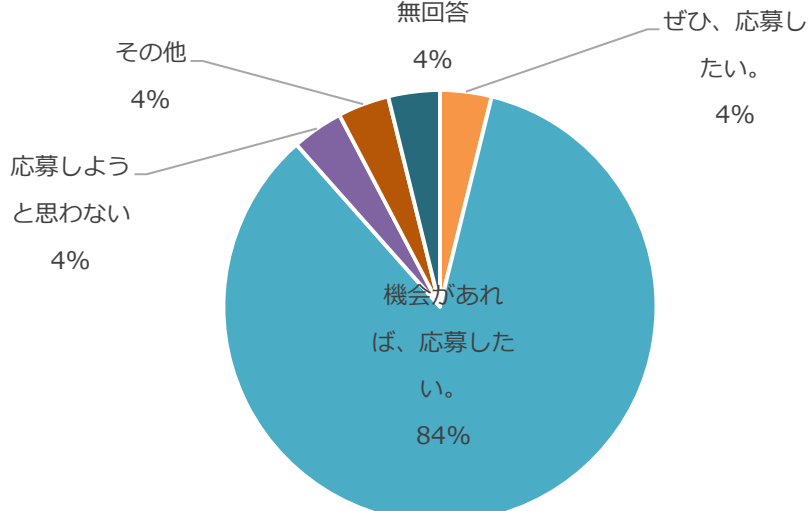
Q5: 「とっておきの風景」プレートを



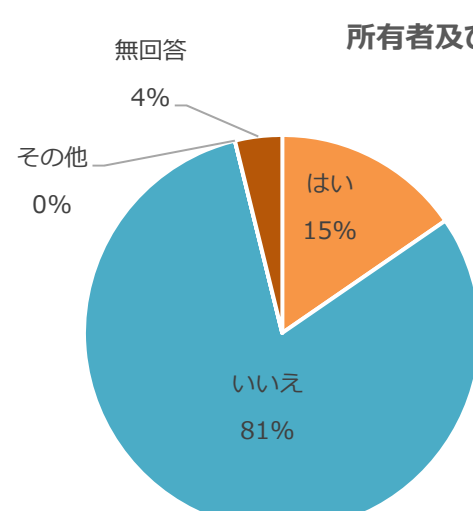
Q6: 「とっておきの風景」に登録したことがあるか

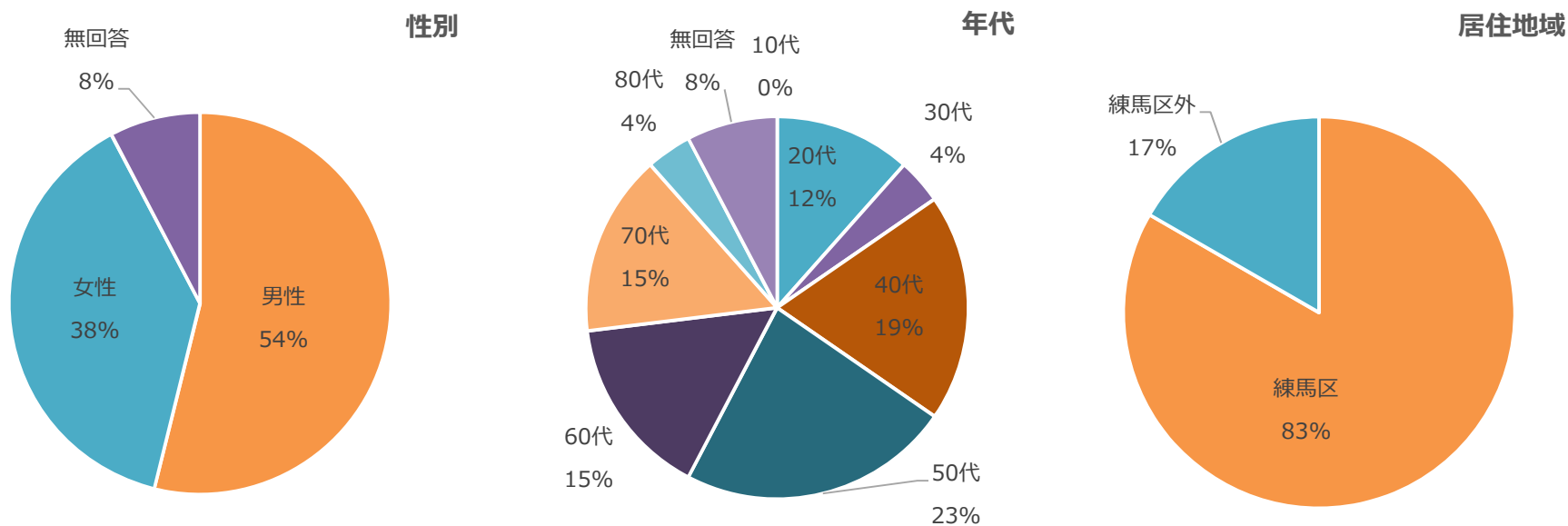


Q7: 「とっておきの風景」に応募したいか



Q8: 「とっておきの風景」の所有者及び所有団体の一員か





#### Q4. これまで、「とっておきの風景（地域景観資源登録制度）」はご存じでしたか？

- ・プレートを見たことがなかったので今後は注意深く見つけるようにしたい。

#### Q7. 今後、「とっておきの風景（地域景観資源登録制度）」に応募しようと思われませんか？

- ・外国人なのでなんとも言えない。
- ・とっておきの風景の募集が合することは知っていたが内容がはっきりせず、応募ができなかったが今回の受講で目を向けトライしていきたいです。

#### Q8-1. 所有されている「とっておきの風景」が登録されて、良かったこと、もしくは、問題となったこと

- ・より良い環境を守るためには、周知させるうえでもよかったと思う。
- ・近隣者の承諾を得ないまま登録をしてしまい、一部の方の反対にあい、「とっておきの風景」をおろしたことがある。
- ・嫌がる人がいたと聞いたこと。

#### Q9. 今後、「とっておきの風景」をどのように活用していったらよいと思いますか。その他、自由意見

- ・パネリストの方々（特に岩本会長が）視覚的な狭義の景観について一切触れず、人間関係や親睦の重要性について語られていたことがとても印象深かったです。これも中島先生の基調講演があってこそ、すんなり聞くことができました。とても参考になりました。
- ・すでに「発見術」の域を超えた感があるので、次回の「活用術」がどのような内容になるのかとても興味がわきました。「とっておきの風景」についてはぜひ子供たちに伝えるべく、学校の授業（地域調べやまち探検など）に活用していただければと思います。
- ・もっともっと広く周知させたいですね。
- ・写真集にまとめて区政80周年の記念とかに出してみてもいいのでは？
- ・とっておきの風景サミットを開催する。地権者などが集まり、情報交換する。今後のねりまの風景などがどうあるべきか見えてくるのでは。
- ・風景に隠された歴史、背景、ストーリーをより掘り下げられる風景が増えればより価値を上げられ、愛される風景になると考える。
- ・とっておきの風景をめぐるツアーを開催する。内容としては、参加者が撮影者、地権者さんからお話をきき、写真とともに風景の裏側に隠れた背景を知ろうというもの。
- ・ポストカードでいつでも購入できたらよいと思う。
- ・「とっておきの風景」が住宅内以外のコミュニケーションのきっかけになればよいと思う。
- ・近隣関係があまりない（とくに新築で開発された住宅地）とよく聞きますが、是非3件のつながりをキャンペーン化して子供たちが生活しやすい環境を行って頂きたい。
- ・これを一つの道具にして、区内の再認識、環境保護にいかす。親睦のツールにする。人間関係が改めて大事だと痛感しました。
- ・コミュニティ、人と人のつながりがもっとできるきっかけを。
- ・誰かが大切に思うものが守られること、共有しあうことの重要性、誰かが思いを伝えれば守られたかもしれないものがどんどん減っていく現状を救う手段として有能であると感ずる。
- ・気持ちよく住むことの大切さを可視化すること、「当たり前でまさかなくなることはないと思っていたのに！」が減らせるきっかけとなることを願っています。
- ・地域で守るような物が望ましい。
- ・生活景という発想が面白く、興味を持ったが具体的な定例の中でどう活かされていくか知りたい。パネルディスカッションが基調講演と連携した話題になればよかった。
- ・パネルディスカッションはとてもひどい、エゴだと思う。風景景観は時代とともに移りゆくからいいのだと思う。